

卵巣がん患者の意識調査

診断を遅らせる卵巣がん知識不足

太ってきたのだろう…
で終わらせず
婦人科受診も考えてください。
子宮筋腫や卵巣腫のような場合
があります

令和5年6月 高知新聞 記事より
製薬会社アストラゼネカ社 患者意識調査
2022年9月に実施されたウェブアンケート

※開示すべき利益相反はありません
(文責:林 和俊)

卵巣がん患者意識調査

対象:10年以内に卵巣がんと診断された20代以上119人

□受診のきっかけ

「症状が出た」45% 「健康診断で異常が見つかった」23%

□現れた症状

「おなかが張る」54% 「下腹部の痛み」50% 「トイレが近い」33%

□症状出現、異常指摘から受診までの期間

「半月以上」64% 「3~4ヶ月」15%

□受診が遅れた理由

「婦人科を思いつかなかった」37%

「婦人科受診経験少なく抵抗があった」22%

「内診に抵抗があった」13%

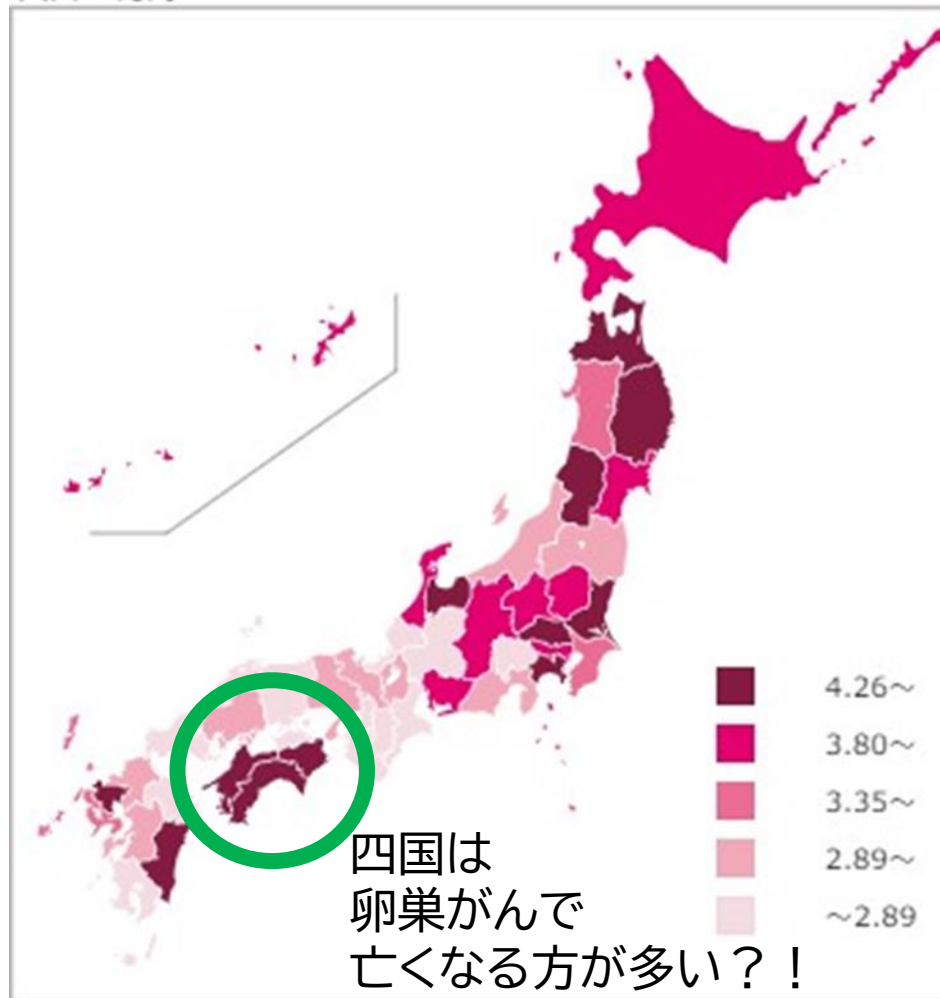


事前に卵巣がんを
より知っていたら、
もっと早い受診に
つながった!



都道府県別 年齢調整死亡率
2020年 卵巣
[女性, 75歳未満]

人口10万対



四国は
卵巣がん
で亡くなる方が多い?!

資料: 国立がん研究センターがん対策情報センター

Source: Center for Cancer Control and Information Services,
National Cancer Center, Japan

卵巣がん

- 患者数(全国がん登録罹患データ2019年)
子宮体がん17,880人 卵巣がん13,388人 子宮頸がん10,879人
あらゆる年齢に発生するがピークは50～54歳
- 死亡数(人口動態統計がん死亡データ2020年)
卵巣がん4,876人 子宮頸がん2,887人 子宮体がん2,644人



詳しくは、国立がん研究センターがん情報サービス (<https://ganjoho/public/cancer/ovary>)

超音波検査を含む婦人科検診を受けましょう

- 2021年にアストラゼネカ社が実施した別のアンケートがあります。卵巣がんにかかっていない女性1,314名に対する「卵巣がん意識調査」です。
- それによりますと、**約6割の女性が婦人科検診を受けていません**。その理由は「不調を感じていない」からです。
- **通常、卵巣腫瘍は自覚されません**。不調を感じた時点では相当、腫れ物は大きくなっています。
- バス検診や通常の「子宮がん検診」では、内診と子宮頸部細胞診で「頸がん」の検査を実施していますが、**卵巣の腫れを診断することは困難です**。



人間ドック・婦人科検診は、オプションでも

是非、超音波検査を受けましょう。